

子供たちと笑顔になろう!!



■目的

- **裸足**で運動や遊びをする楽しさを体感することにより、体力の向上を図り、たくましく生きる児童の育成を目指します。また、芝生化は、**子供たちや地域にいい変化**を促すための一つの手段であると考えています。



■芝生化の効果

1. 子供達の心身の育成

- 心も身体もぐんぐん成長していく子供たち。園庭を芝生で緑化することにより、積極的に身体を動かせる環境下での**身体能力の向上**や**心の豊かさ**など、**心身両面でのメリット**があると考えます。
- 芝生は子供たちを外へ誘い出し、遊ばせる力を持っていると考えています。

2. 地域との連携

- 子供たちや保護者、地域の方々が一緒に育み、**地域コミュニティの中心**となれるような芝生のグラウンドを目指しています。
- 運動会などで親子で寝転がったり、お弁当を食べたりとみんなが使えるような場所を提供したいと思っています。



3. 芝生化による安全性

- 子供たちはいつも滑ったり転んだり。**すり傷に砂が入って・・・**という危険がかなり**軽減**できると考えます。また、**0～1歳児はすぐに砂や土を口にに入れてしまいますが**、芝生が生えているお陰でそのようなことが**かなり減った**という報告もあります。

4. 幼稚園に新しい自然が生まれます。

- 現在も自然は、いっぱいありますがグラウンドが芝生になると、朝の光で芝生の露がキラキラと輝き、小鳥が集まってきます。

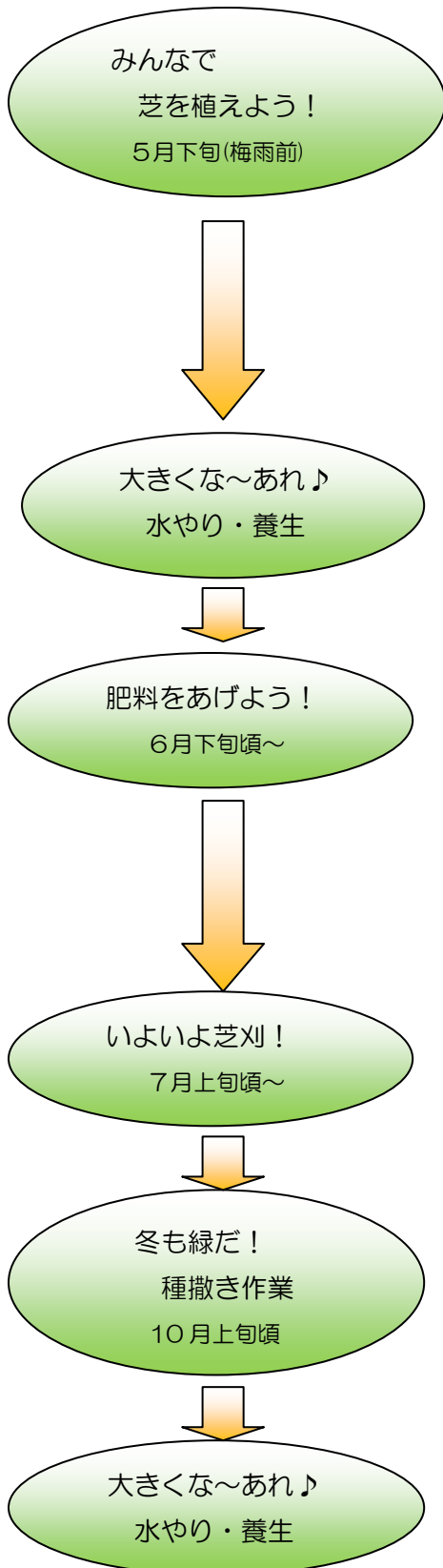
5. 芝生は、いい環境をつくりだします。

- 土の園庭に比べると、真夏の一番暑いときで、**10℃～15℃も温度が低い**という結果があり「地球の温暖化」や「ヒートアイランド現象」などに効果があります。また、**園庭からの照り返しが軽減**できる分**施設の温度も抑える**ことができると思っています。
- 以前は、施設内に園庭の砂が多く持ち込まれ掃除が大変でしたが、芝生化にすると自然の足ふきマットのようになり**掃除の回数もかなり軽減**できると思います。また、園庭が芝生で覆われているので運動による土の掘り上げや、**ぬかるみ**が**出来にくく**なります。

6. 見学に来られた方は園庭が芝生ということを**高く評価**してくれます。



■芝生化の流れ



地面に50cm間隔の筋付して、植穴を掘り、ポット苗(ティフトン芝)を植付けます。



植付け直後に、十分な散水をします。その後1ヶ月くらいは、乾燥させないように小まめに散水します。

園児が中で遊ぶのを少し制限します。(激しい利用は避けます。)

植付け後1ヶ月より3ヶ月間は、2週間おきに20g/m²程度の化成肥料を撒きます。



植付け後40日~80日目までは、刈高4~5cmで1週間に1回刈込みをします。



冬芝(パレアルライグ)の種を撒き、冬季に地表部が枯れる夏芝(ティフトン芝)の緑色を補い、1年中緑色を保つことが出来ます。

種撒き後3週間は、激しい利用は避けます。

10月~5月1ヶ月毎に20g/m²程度の化成肥料を撒きます。

ただし、真冬の施肥は不要です。



富山興業株式会社
高岡市博労本町1-14
☎ 0766-21-1433
FAX 0766-23-0063